

チム九

印刷を支え加工を活かす

仲尾 洋人

営業本部(物流) 課長

2002年に新卒で入社した仲尾洋人さん。現在は、営業本部の物流部門で課長として奮闘する毎日です。今回のインタビューでは、仕事をすることで心がけや今後の目標などについて迫りました。



——入社のきっかけは何ですか。
 高校卒業後は就職を希望していましたが、しかし第一志望の会社に落ちた後、就職活動が停滞してしまっただけです。見かねた担任の先生がハローワークに同行してくださり、そこで目に留まったのが弊社の求人広告でした。社内見学に出向いてみると、体育会系の同世代が多く活躍していたんですね。活気ある雰囲気惹かれて、入社を決意しました。

——これまでにどんな仕事を担当されましたか。

入社後は断裁部門に配属となり、最初の工程であるカットを担当していました。そして現場で7年ほど経験を積んだ後、物流部に課長として異動しました。現在は出入荷の段取り、自社トラック3台の配車手配やスケジューリング管理などを行っています。

——課長として物流部に異動となったとき、どんな気持ちでしたか。

断裁部は年の近い社員も多く、エネルギーが豊富な部門。みんな

私もそんな存在でありたいですね。困ったり悩んだりしている人がいたら、いち早く気付いてあげたいし、手を差し伸べたいです。

みんなの支えとなりながら密なコミュニケーションを取っていけば、社長の目指す「給与が高く、早く帰宅できる会社」「情のある会社」が実現できる日も遠くないと思います。また業績も、上向きになっていくはず。会社がさらに飛躍できるように、実力をつけて貢献していきたいです。

周囲への感謝を、会社への貢献として形に残したいと意気込む仲尾さん。仲間たちへの深く温かい気持ちを胸に、これからも走り続けていくことでしょう。



一つのものをつくり上げるため、結束力がとても強かったですね。そこで培った経験を生かしたいとの思いもあり、断裁部でのキャリアアップを目指していました。

ところが、これまでほとんど関わりのなかった物流部への異動を命じられたんです。しかも、課長の役割付きでした。何の知識もない中、責任をまっとうできるのかと悩みました。実は、サッカー部では小学校・中学校とキャプテンを、高校では副キャプテンを務めていて、そのことを入社時の面接でアピールしていたんですね。ですから、リーダーシップ力を期待して任命いただけたのかもと考えました。

気持ちが揺らいでいたとき、後

押しとなったのは「お前しか、おらんのか」という先輩の一言でした。また、プライベートではちょうど子どもが生まれたこともあり「仕事でも一歩先に進んでみよう」と気持ちが固まりました。

——実際に、課長職に就いてみていかがでしたか。

右も左も分からず、最初はとても苦労しましたね。物流部は年上の方ばかりで、質問するのも気が引けてしまっただけ。そんな中、一から教えてくださったのが、当時の常務である早内さんでした。早内常務がメイン業務を担当し、私はフォロワーをしながら業務内容を学んでいきました。

転機は2〜3年経ったころ、早内常務の海外旅行がきっかけです。「後は任せる」と言われ、そこからは基本的にすべて1人で担当するようになりました。物流部に異動し、頑張ることができたのは早内常務のおかげ。業務のみならず、部内の人間関係についても手助けをしてくださり、感謝の思いでいっぱいです。

——仕事をする上で心がけていることは何ですか。

業務上で気を付けているのは、現場の声にできるだけすぐ対応することです。そのためには、コミュニケーションが欠かせません。意思疎通を図ることで職場の雰囲気も良くなり、働きやすさもアップすると思います。私は口下手なところがあるのですが、自分自身が変わっていくことが大事だと感じ、常に意識しています。

——失敗経験はありますか。

もちろんです。例えば、断裁部ではカットのサイズを間違えて、使いものにならなくなったことがありました。そのたびに「会社を辞めたい」「今すぐ帰りたい」という衝動にかられましたね(笑)

他にもいろいろありますが、こうして乗り越えてこられたのは仲間がいたからです。落ち込んだときには励まし、慰めてくれました。

——今後の目標を教えてください。

私は、いつも人に恵まれてきました。学生時代もそうですし、周りの人たちに助けてもらってきたからこそ、今があると感じています。ですから周りの人にとって、

企業情報

- ◆ 創立年：1983年1月
- ※ 創業：1963年
- ◆ 年商：15億円
- ◆ 従業員数：200人

※ 2018年12月実績

The FOCUS

管理本部 編



私が
紹介します

管理本部 課長
徳富 孝宏さん



メンバー構成

社長夫人、取締役山口管理本部長、取締役田淵副本部長、課長の自分、経理担当大前さん、ベトナム人社員月子さん、タイ人社員ユティカさん、アルバイトの山本さん

業務内容

2019年7月に経理部と総務部が合体して現在の管理本部になったので、もともとの2部署の仕事が中心で、伝票の整理や売り上げの回収など多岐にわたる業務を行っています。加えて、管理本部にはタイ人社員ユティカさんとベトナム人社員月子さんがいるので、現場の通訳に行ったり、外国人社員の生活面で問題があったときに助けに行ったりすることもあります。人数が少ないなかで夜勤もこなしており、忙しく大変な仕事ですが、みんなで頑張っています。



職場自慢

普段はみんなパソコンの前で黙々と作業していますが、法律に関わる難しい問題が多々あるので、問題が起きたときはみんなで集まってあれこれと考えて解決します。従業員の皆さんが少しでも働きやすくなるようにという想いでやっています。7月の合併後、新工場の立ち上げもあり、忙しくて飲み会などもできていないのですが、今後そういったこともやっていきたいです。

仕事のやりがい

お金の流れは血流と同じです。資金調達をしなければ会社は死んでしまうので、会社が途絶えず回転していくように、資金面でバックアップしていくことが大きなやりがいです。毎年変わる法令に対応したり、働き方改革なども取り入れたり、新しいものに対応するために行う工夫もやりがいに繋がっています。最近取り入れた勤怠管理システムもその一環です。以前は勤怠管理が紙媒体でしたが、クラウドシステムにしたことで、総務と経理で別々だった業務が、今では連携して行うことができます。

思い出深いエピソード

2019年9月に、銀行から借りていたお金の返済を終了した直後、新工場の立ち上げがあったので、みんなで資金調達に駆け回りました。忙しかったですが、今ではいい思い出です。



管理本部 活躍している社員

おおまえ ともこ
大前 智子さん



去年の7月まで東大阪工場で生産管理を担当していた方です。経理の業務を全然知らないところからのスタートだったにもかかわらず、この10月から産休に入られたベトナム人社員の月子さんの仕事も引き継いで頑張ってくれています。失敗してもめげずに取り組む明るい性格で、周りの社員とも楽しそうに仕事をしています。

やまもと あきこ
山本 晶子さん



常に明るく元気のいいムードメーカー。私が経理に入ったときはすでに働かれていたので勤務歴の長いベテランです。外部とのやり取りが多く、書類も多い大変な仕事ですが、いつも夜遅くまで頑張ってくれています。以前、副本部長と山本さんだけという、実質1人のときがありました。そのとき会社を支えてくれて本当に感謝しています。

管理本部の目標

様々なデータを紙媒体で管理しており煩雑になっているため、今後は電子媒体への移行を行い業務を効率化し、今やりたくても手を付けられていない他の業務に取り組んでいきたいです。2年前にも試みたことがあるのですが、忙しくて手がつけられず頓挫したので、近いうち実現したいと思っています。

管理本部のメンバーへメッセージ

今まで6月だった決算が今年から12月になるので、これからちょうど忙しい時期に入っていきます。いつも少数精鋭で頑張っているの、体を壊さないように気をつけて日々の業務に取り組んでいきましょう。

謹賀新年 2020年の抱負

あけましておめでとうございます！ 橋野社長に2020年の抱負を伺いました！

◆会社総論

前期は半年で決算を終了しました。37期に大きな赤字を出してしまいましたが、前期である程度取り戻すことができました。皆様、本当にありがとうございました。心より御礼申し上げます。37期の赤字の原因のひとつに人手不足がありましたが、4月の正社員、タイ人実習生。ベトナムからの正社員。さらにタイ人実習生8期生と9期生の再入国により人手不足を解消することができました。この3年の間に内製売り上げ、つまり工場での売り上げがじりじりと下がってきておりました。仕事があって、機械が空いているのに人がいないというまことに苦々しく苦しい状態でしたが、今年以降はその苦しみも少なくなるのだと思います。

今期のスタートに際して人事を発表します。

まず、専務取締役として河井健。常務取締役として井上肇。工場本部長に大橋隆行。営業課長として月岡達也。を任命します。河井専務は今まで以上に会社のお目付け役として、そして設備担当者として新しい技術や検査装置などの開発に取り組んでいただきたいと思います。井上常務は生産担当常務として今まで以上に現場の稼働率にこだわり、新鋭機械の立ち上げや現場の活動を数字で把握するために活躍をしてもらいたいと思っています。また、井上常務には品質保証部長を兼任していただきます。大橋工場本部長には本社工場と瓜破工場の総合責任者として活躍をしていただきたいと思います。月岡課長には長年培ってきた現場の経験を活かし、お客様の良き相談相手として営業活動をしていただきたいと思います。また、月岡課長を始め営業本部の方たちには今後近い将来に大幅に減少していくであろうカレンダー製本の代わりになるような事業を早急に作り上げていただきたいと思います。

新しく刷新をしたこの体制で心機一転頑張ってもらいたいと思いますので、どうかよろしくお願いします。

今の当社の課題をお話しておきたいと思います。

25年くらい前の日本の社会に共通する課題は女性の力の活用でした。それまでの企業は男社会として男性の感覚が優先する職場が多くありました。男性の感覚が優先する社会の限界を感じた会社が女性の戦力化。もしくは戦力の女性化をテーマに女性が活躍できる社会の実現に取り組んできました。その結果、現在ではどのような職場に行っても活躍する

女性が出てまいりました。時代が変化してきた現在では外国人の戦力化が大きな課題ではなからうかと思っています。これは当社だけではなく日本全体の課題であろうと思います。未来のことは分かりません。特にそれが技術のことになると予測がしにくいものです。電気自動車が普及することとAIを利用した運転が増えることで車社会がどうなっていくか。医療の現場ではがんという病気がただの風邪のように扱われる時代が来るかもしれません。それがたとえ5年先、10年先のことでも分かりにくいものです。

しかしながら5年先、10年先のことで確実にわかっていることがあります。それは就労人口の減少です。10年後は就労人口が850万人不足することが確実なのです。少子高齢化社会が本格的な時代になります。その時に備えて、高齢者が働きやすい現場の実現。そして外国人が働きやすい現場の実現。外国人に重要なそして難易度の高い仕事についてもらうための仕組み作りが必要です。

そのことで昨年は大きな成果をあげることができました。それはカレンダー製本による店名混入がなかったことです。

タイ人の実習生が丁合をとって、ベトナム社員が製本を担当するといった見ているだけでひやひやすする状態でしたが、昨年のカレンダー製本では店名混入が皆無でした。これはまことに大きな実績だと言えます。外国人の戦力化に向けて大きく一歩を踏み出した一年であったと思います。

これからも種類のある仕事。機械のセッティングやメンテナンス。予定組や進捗管理など、今まで日本人がしていた仕事をどんどん外国人の方にしていってもらいたいと思っています。

もうひとつ。

AI、AIと言われている現在は第4次産業革命のど真ん中にいます。

第1次産業革命は蒸気機関の発明でした。今まで人力や馬などを利用して行っていたことが蒸気機関というものすごい力を出す仕組みに変わりました。代表例としては最大でも4人くらいしか乗れなかった馬車から何百人も乗れる蒸気機関車になっていったことがあげられます。

第2次産業革命は電力です。蒸気機関はお湯を沸かすことから始めなければなりませんが、電力、つまりモーターを使うことでスイッチを入れると稼働するようになりました。

第3次産業革命は半導体です。半導体の開発によってコンピューターやセンサーが生まれ、機械の自動化が著しく進みました。

そして現代が第4次産業革命のど真ん中にいます。

第4次産業革命とはAIという人工知能やIoTといったすべての情報をコンピューターで集計し分析して判断してコンピューターから指示を出していくという時代になります。簡単な言葉で言うと第3次産業革命の自動化に対して第4次産業革命はコンピューターの自律化になります。

すでに農業分野では色々な仕組みができております。農家の人がやっている作業をビッグデータにして日照時間や気温、湿度などの条件に対して肥料をやったり水を撒いたりする仕組みができております。先々では電車やトラックの運転まで自動化できるようです。この第4次産業革命で象徴的な変化が事務効率だと言われております。大幅に事務効率があがることで5年先10年先になくなっていく仕事が沢山出てきます。先ほどあげた就労人口の減少に間に合うようにどこの企業も、それぞれ社会全体が取り組んでいる課題といえます。

以前に全体朝礼でお話をしたように、当社でも昔は給料計算をするのに手作業で2日かかっておりました。2日かかっていた作業を1秒でできるようにしなければなりません。当社でもまずは4月1日の実施を目指して取り組んでまいります。

いずれにしても39期は、この場にいる皆さん全員が活躍をして輝かしい業績を残してまいりたいと思っていますのでよろしくお願いします。

◆会社の目的

早く帰れて給料の良い会社、かつ情のある会社を目指す。

◆経営理念

印刷を支え加工を活かす。

職場を人生の道場と定めたゆめぬ努力を続けよう。

全従業員の物心どもの幸福を追求する。

誠実に良い商品を納品する。

◆テーマ

使ったものを元に戻そう。

要らないものは捨てよう。

自分を変える努力をしよう。

確認、確認、また確認。この目とこの手でまた確認。

◆当社の判断基準

1. 安全
2. 顧客満足
3. 効率化

会社の目的の早く帰れて給料の良い会社、かつ情のある会社を目指すという目的を達成するため、徹底的に機械の回転

と稼働率にこだわり、無駄を省く年にしてまいりたいと思います。先代から受け継がれてきた社風をさらに色濃くできた年にしたいと思います。

また、経営理念の4番目であった、『一つ一つの仕事に対して誠実に良い商品を納品する』箇所ですが、唱和をしようと思えば少し長くなるので一息で言えるように意味はそのまままで短くしました。

毎年テーマを掲げて仕事をしておりますが、今年もテーマを掲げました。

今年は『自分を変える努力をしよう』を入れました。世の中は刻々と変化をします。目に見える変化は分かりやすいのですが、感性の変化は感じ取るしかありません。目に見える変化についていくことはスマホを買ったりすることでついていくことができますが、感性の変化についていくことは自分を変える努力をするしかありません。最近は特に不良についての感覚がどのお客さんも過剰になっているように思いますが、これも世の中の変化です。自らの感性を世の中に合わせていかなければなりません。また、立場が変われば自分も変えないといけません。今のままの自分でよいと思うことが、成長を課せられているヒトという生き物の考え方の中で一番間違っているのかもしれない。どうか今年一年、『自分を変える』ことに挑戦してください。

テーマというのは毎朝唱和するために作るものではなくて、当社の必要なことを当社で働く人たちと会社の中だけでなく共に共有したく作っております。一生懸命に考えてできるだけ短い言葉で表現をしているつもりです。

使ったものを元に戻す会社になりたい。使ったものを元に戻す人たちの集まりになりたい。要らないものを捨てる会社になりたい。要らないものを捨てられる人たちの集まりになりたい。自分を変える努力をする会社になりたい。自分を変える努力をする人たちの集まりになりたいと思っています。そして確認という労を惜しまない会社になりたい。確認という労を惜しまない人たちの集まりになりたいと本気で思っております。どうか、当社で働く人たちはこのことを理解していただきご協力を頂けることを心よりお願い申し上げます。私のお話とさせていただきます。

